

予告

修士課程入学試験(エネルギー変換科学専攻第1回選抜)の 専門科目数変更について

大学院エネルギー科学研究科エネルギー変換科学専攻では、修士課程入学試験(第1回選抜)の「専門科目Ⅰ」および「専門科目Ⅱ」について、令和9年度入学試験の出題を以て廃止し、令和10年度はこれらを統合した「専門科目」を新設する。

◆令和9年度修士課程入学試験(第1回選抜)までの募集要項記載内容

専門科目Ⅰ：下記の数学、熱力学、材料力学、材料物性学、電磁気学の計5科目から2科目を選択し、その選択科目についてそれぞれ解答する。

数学：線形代数、微分方程式、ベクトル解析、複素関数、フーリエ解析、ラプラス変換、などから出題する。

熱力学：熱力学の基礎と応用から出題する。

材料力学：材料力学、および弾性論の初歩から出題する。

材料物性学：材料物性の基礎から出題する。

電磁気学：電磁気学の基礎と応用から出題する。

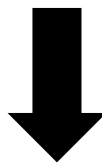
専門科目Ⅱ：以下の各専門分野から1専門分野を選択して、選択分野について解答する。

専門分野1：機械力学、流体力学・伝熱学、システム工学、機械設計など。

専門分野2：電気回路、電子回路、電気電子計測、電気機器など。

専門分野3：材料物性、材料組織、材料強度、材料熱力学など。

専門分野4：応用物理(真空、原子力、放射線、核融合など(関連する材料を含む))、応用化学(移動現象、反応プロセスなど)。



◆令和10年度修士課程入学試験(第1回選抜)以降の募集要項記載内容

専門科目：以下の専門分野1、専門分野2、専門分野3から1分野を選択して解答する。

専門分野1：熱力学、材料力学、機械総合(機械力学、流体力学、伝熱学、システム工学、機械設計など)および数学*から出題する。

専門分野2：電磁気学、電気電子工学の基礎(電気回路、電子回路、電気電子計測、電気機器など)および数学*から出題する。

専門分野3：材料工学の基礎(材料物性学、材料組織学、材料熱力学、材料強度学、材料力学、材料物理化学など)および数学*から出題する。

*ただし、数学は線形代数、微分方程式、ベクトル解析、複素関数、フーリエ解析、ラプラス変換、などから出題する。

予告

修士課程入学試験(エネルギー変換科学専攻第2回選抜)の 専門科目の分野数変更について

大学院エネルギー科学研究科エネルギー変換科学専攻では、修士課程入学試験(第2回選抜)の「専門科目」の専門分野Dについて、令和9年度入学試験の出題を以て最終とし、令和10年度以降の当該入学試験においてはこれを廃止する。

◆令和9年度修士課程入学試験(第2回選抜)までの募集要項記載内容

専門科目：下記の専門分野A、専門分野B、専門分野C、専門分野Dの計4分野から1分野を選択し、その選択分野についてそれぞれ解答する。

専門分野A：熱力学及び材料力学。

専門分野B：電磁気学、電気回路、電子回路、電気電子計測、電気機器など。

専門分野C：材料物性、材料組織、材料強度、材料熱力学など。

専門分野D：応用物理（真空、原子力、放射線、核融合など（関連する材料を含む））、応用化学（移動現象、反応プロセスなど）。



◆令和10年度修士課程入学試験(第2回選抜)以降の募集要項記載内容

専門科目：以下の専門分野A、専門分野B、専門分野Cから1分野を選択して解答する。

専門分野A：熱力学および材料力学。

専門分野B：電磁気学、電気回路、電子回路、電気電子計測、電気機器など。

専門分野C：材料物性、材料組織、材料強度、材料熱力学など。

以上